



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 名

上場会社名 大成株式会社

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 中島 武久

TEL 052-251-6611

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,195	0.7	△26	—	△10	—	△25	—
24年3月期第1四半期	4,164	△3.9	61	642.2	80	110.1	39	22.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △72百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 29百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△5.06	—
24年3月期第1四半期	7.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	10,369	7,175	69.2
24年3月期	10,038	7,298	72.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,175百万円 24年3月期 7,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,445	2.0	119	△25.3	144	△21.5	74	△24.7	14.70
通期	17,060	1.4	272	15.0	312	△1.1	163	84.0	32.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	5,369,671 株	24年3月期	5,369,671 株
25年3月期1Q	333,960 株	24年3月期	333,960 株
25年3月期1Q	5,035,711 株	24年3月期1Q	5,035,711 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要など堅調な内需を背景に、低迷していた景気が上向いて参りました。しかしながら当第1四半期連結累計期間における景気改善はまだ小幅であり、また欧州金融危機の長期化や新興国経済の減速といったリスクによる円高傾向・輸出減などの問題は払拭できず、日本経済の回復が遅れる恐れが依然強い状況であります。

ビルメンテナンス業界におきましても、既存物件における空室率の高止まり傾向や仕様の見直しによる減額要請など、厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、ビルメンテナンス事業につきましては、前年度後半に解約があったものの、いくつかの新規物件などを獲得し、売上高は微増となりました。しかしながら新規物件における人材の募集費・教育費や解約物件における人員整理の遅れなどにより、損益面では厳しい状況となりました。

またリニューアル工事業につきましては、ビルメンテナンス事業における顧客及びその他広く営業活動を行い引き続き工事受注に努めて参りましたが、結果的に売上は全体的に減収となりました。

そして不動産ソリューション事業につきましては、既存の指定管理事業物件において随時売上の獲得や各種イベントの企画などによる施設利用者の増加に努めて参りました。

結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高41億95百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業損失26百万円（前年同四半期は、61百万円の営業利益）、経常損失10百万円（前年同四半期は、80百万円の経常利益）、特別損失として本社ビルの空調設備の除却等を19百万円計上し、四半期純損失25百万円（前年同四半期は、39百万円の四半期純利益）となりました。

ビルメンテナンス事業

（クリーン業務）

クリーン業務につきましては、一部大型施設他の解約物件もありましたが、ベストウェスタンホテル、ホテルアソシア新横浜、湘南東部総合病院、明治安田生命新東陽町ビルなどの新規物件の前年対比増収要因があり、売上高は21億35百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。しかし新規物件の立上費用や解約による余剰人員の労務費が影響し、営業利益は2億60百万円（同13.6%減）となりました。

（設備管理業務）

設備管理業務につきましては、東京EAST、丸の内東映会館などの新規案件はあったものの、昨年並みの大型随時工事を受注できず、売上高は9億11百万円（同2.1%減）、営業利益は18百万円（同49.6%減）となりました。

（セキュリティ業務）

セキュリティ業務につきましては、セントラルパーク駐車場管理、プロロジスパーク春日井などの新規物件ほか、既存物件においても随時売上げを獲得したことにより、売上高は6億85百万円（同3.2%増）となり、営業利益は55百万円（同15.0%増）となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は37億32百万円（同1.8%増）となりましたが、労務費などの原価増により営業利益は3億34百万円（同13.5%減）となりました。

リニューアル工事業

リニューアル工事業につきましては、当第1四半期連結累計期間において顧客ビルからの工事受注に努めたものの、新規受注の減少により売上高は2億97百万円（同11.5%減）となり、営業利益は16百万円（同48.5%減）となりました。

不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、各施設において自主事業の企画により利用者の増加に努めたことにより、売上高は1億66百万円（同1.6%増）となりましたが、原価および販売費及び一般管理費の増加により営業利益は4百万円（同13.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産103億69百万円（前連結会計年度末比3億31百万円増）、負債の部は31億94百万円（同4億53百万円増）となり、純資産の部は、71億75百万円（同1億22百万円減）となりました。

資産の部の増加要因は、主には「有価証券」、「繰延税金資産」及び「建物及び構築物」が増加したことによるものであります。

また負債の部の増加要因は、主には、「短期借入金」が増加したことによるものであります。「短期借入金」の増加は、翌月に支給予定である賞与資金を調達したことによるものであります。

そして純資産の部の主な減少要因は、配当による「利益剰余金」の減少及び「その他有価証券評価差額金」が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、第2四半期の業績予想に対する進捗率が、売上高は49.7%とほぼ計画通りに推移した一方、営業利益、経常利益、純利益は業績予想比マイナスと厳しい状況となっております。第2四半期以降を通じては、売上は業績予想通りと見込んでおります。また今後原価および販売費及び一般管理費の削減を図りつつ、さらに随時工事などの獲得に努めて参ります。平成25年3月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月15日公表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,547,414	1,607,174
受取手形及び売掛金	1,589,793	1,631,373
有価証券	25,620	107,564
商品及び製品	7,611	7,647
原材料及び貯蔵品	51,114	50,252
繰延税金資産	109,873	182,689
その他	34,110	105,020
貸倒引当金	△800	△821
流動資産合計	3,364,736	3,690,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,981,943	2,041,408
減価償却累計額	△1,334,801	△1,237,225
建物及び構築物（純額）	647,141	804,182
機械装置及び運搬具	470,746	470,746
減価償却累計額	△380,676	△387,629
機械装置及び運搬具（純額）	90,069	83,117
工具、器具及び備品	290,505	304,595
減価償却累計額	△229,899	△236,100
工具、器具及び備品（純額）	60,605	68,495
土地	1,172,981	1,172,981
リース資産	10,843	10,843
減価償却累計額	△8,675	△9,217
リース資産（純額）	2,168	1,626
建設仮勘定	40,975	35,450
有形固定資産合計	2,013,941	2,165,852
無形固定資産		
投資その他の資産	39,102	41,344
投資有価証券	1,834,880	1,678,225
差入保証金	273,706	271,314
退職積立資産	936,840	938,813
保険積立資産	448,955	446,269
ゴルフ会員権	146,449	146,249
繰延税金資産	259,574	267,385
長期預金	650,000	650,000
その他	99,173	102,044
貸倒引当金	△28,440	△28,440
投資その他の資産合計	4,621,140	4,471,861
固定資産合計	6,674,184	6,679,058
資産合計	10,038,920	10,369,958

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	421,893	414,765
短期借入金	60,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	109,920	99,930
リース債務	2,168	1,626
未払費用	198,705	237,855
未払給与	761,643	756,089
未払法人税等	97,296	55,062
未払消費税等	90,345	126,727
賞与引当金	221,865	387,120
その他	147,790	232,686
流動負債合計	2,111,629	2,611,863
固定負債		
長期借入金	89,990	72,500
預り保証金	33,806	30,650
退職給付引当金	292,765	282,231
役員退職慰労引当金	212,400	196,821
固定負債合計	628,962	582,203
負債合計	2,740,592	3,194,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	5,952,860	5,877,008
自己株式	△314,483	△314,483
株主資本合計	7,338,813	7,262,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40,485	△87,070
その他の包括利益累計額合計	△40,485	△87,070
純資産合計	7,298,328	7,175,891
負債純資産合計	10,038,920	10,369,958

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,164,712	4,195,758
売上原価	3,607,106	3,697,458
売上総利益	557,606	498,300
販売費及び一般管理費		
役員報酬	36,843	39,705
給料	184,304	184,038
賞与引当金繰入額	34,138	37,166
役員退職慰労引当金繰入額	3,970	4,111
賃借料	50,010	47,348
減価償却費	15,324	18,924
保険料	25,510	33,349
その他	145,828	160,558
販売費及び一般管理費合計	495,930	525,201
営業利益又は営業損失(△)	61,676	△26,901
営業外収益		
受取利息	3,479	574
受取配当金	15,632	13,480
受取手数料	3,399	9,236
保険返戻金	—	373
持分法による投資利益	1,890	1,164
その他	274	543
営業外収益合計	24,675	25,373
営業外費用		
支払利息	1,785	1,069
有価証券運用損	1,250	4,900
支払手数料	1,682	1,682
雑損失	1,628	1,200
営業外費用合計	6,346	8,852
経常利益又は経常損失(△)	80,005	△10,380
特別利益		
固定資産売却益	—	13
投資有価証券売却益	1,184	—
特別利益合計	1,184	13
特別損失		
固定資産除売却損	2	19,328
投資有価証券売却損	132	—
ゴルフ会員権評価損	2,433	200
特別損失合計	2,568	19,528
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	78,621	△29,894
法人税、住民税及び事業税	87,988	50,889
法人税等調整額	△48,909	△55,290
法人税等合計	39,078	△4,400
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	39,542	△25,494
四半期純利益又は四半期純損失(△)	39,542	△25,494

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	39,542	△25,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,358	△46,585
その他の包括利益合計	△10,358	△46,585
四半期包括利益	29,184	△72,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,184	△72,079

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業 務	不動産ソリ ューション 業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,069,833	930,926	664,400	335,794	163,757	—	4,164,712
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,069,833	930,926	664,400	335,794	163,757	—	4,164,712
セグメント利益	300,969	36,827	48,155	31,486	5,271	△361,035	61,676

(注) 1. セグメント利益の調整額△361,035千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業 務	不動産ソリ ューション 業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,135,239	911,491	685,493	297,119	166,414	—	4,195,758
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,135,239	911,491	685,493	297,119	166,414	—	4,195,758
セグメント利益 又は損失(△)	260,135	18,566	55,358	16,201	4,552	△381,716	△26,901

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△381,716千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。